

【教育活動の名称】 子どもが主体となって輝く「あい・愛」活動
【副題】 ～「あいがいっぱい愛知川小」更なる充実と発展を目指して

【学校名】 愛荘町立 愛知川小学校

1 本校の概要

本校は、五街道の一つである中山道に面し、令和10年度に150周年を迎える伝統校である。「不易と流行」の言葉に象徴されるように、地域の人々の思いや願いが受け継がれる中、社会の変化と共に本校の教育も進化・深化、発展をしてきた。

「あいがいっぱい愛知川小」を合い言葉に、様々な工夫をしながら教育活動や取組を行っている。

今年度は、それらの活動の更なる充実を目指して、子どもたちが主体となって輝く様々な「あい・愛」活動に取り組んだ。

2 取り組んだ内容

(1) 花いっぱい活動

環境委員会を中心に、学校の正面玄関入口近くを「あい愛花壇」として地域のボランティアの方々と一緒に整備している。



四季折々に美しい花が咲き誇り、子どもたちや来校者の憩いの場となっている。花壇の設計や土づくり等も教えていただきながら整備することができた。

また、今年度は、「国スポ・障スポ滋賀2025」に向けての「花育てりレー」に向けても活動を進め、来年度につながる活動とすることができた。



(2) 「ふれ愛フェスタ2025」

本校の空き教室を利用した「あい愛ルーム」は、地域の方々によって運営がなされている。毎週水曜日の昼休みに様々な楽しい企画を用意していただき、子どもたちも週に1度の時間を楽しみにしている。

今年度は、はじめて「ふれあいフェスタ2025」を企画した。このフェスタは、普段、一緒に活動してくださっている地域の方々ともっとつながるために、約20名の地域の方々をお招きした。カラム、



リズム体操、折り紙、墨を使った作品づくり、クラウン観劇&体験、昔遊び、防災グッズ(新聞サンダル)づくり、合唱、クイズ

の9つのブースに分かれ、ふれあう機会を楽しんだ。この会をきっかけに、さらに地域と子どもたちがつながることができるようになった。



(3) イメージソングプロジェクト

子どもたちが主体となり、愛知川小学校のイメージソングを作った。作曲家の岡田健太郎さんに依頼し、構想段階からプロジェクトチームに入ってもらい、歌詞を一緒に考え曲をつけていた。



2月17日(月)は、曲の完成のお披露目を兼ねて岡田さんにご来校いただき、全校集会の中で歌唱指導もしていただいた。今後は、この曲に合わせたプロモーションビデオを6年生の手で作りあげる計画を立てている。末永く愛知川小学校のイメージソングとして、歌い継がれていくことを期待している。

3 活動の成果

「あいがいっぱい愛知川小」の更なる充実と発展を目指して、様々な「あい・愛」活動に取り組んだ。ここに記した活動の他にも6年生の「教え隊」や「トイレ掃除お助け隊」等、記載しきれない活動もあった。様々な活動を通して、何より子どもたちが主体的に動けるようになったことが大きな成果である。

学校創立150周年に向け、学校が「地域の北極星」のように堂々と美しく輝き、子どもたちが地域の宝として益々活躍していけるよう、今後も子どもたちが主体となって輝く「あい・愛活動」を進め、盛り上げていきたい。